

資料4-2

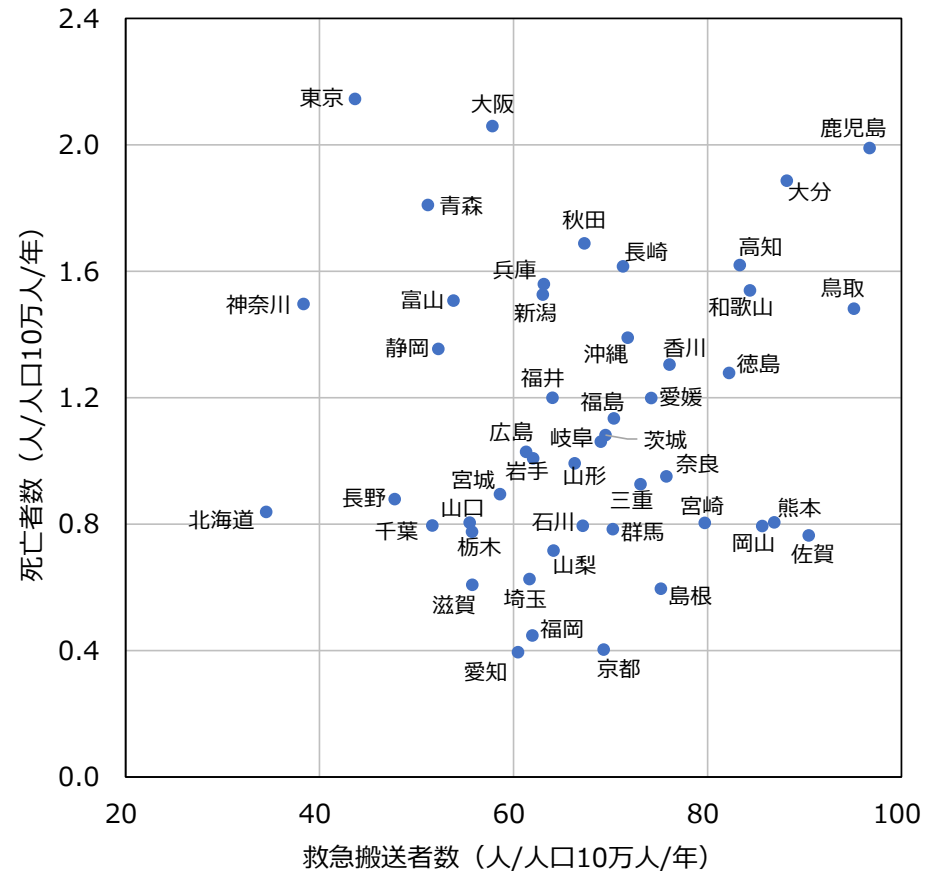
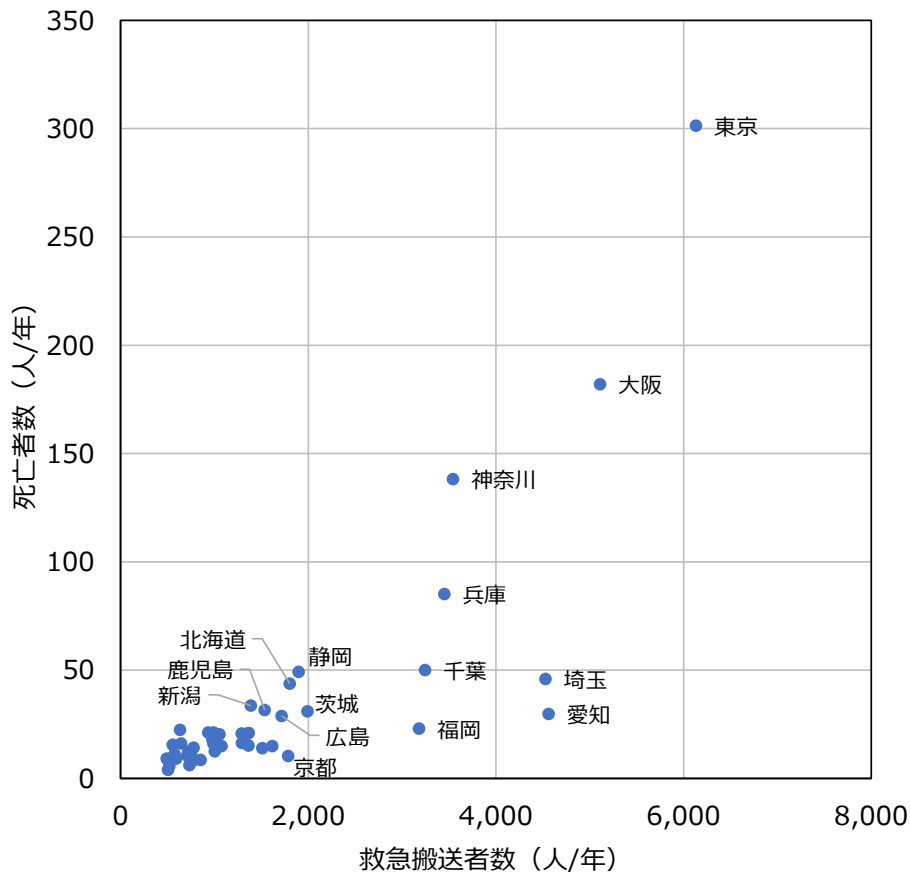
熱中症による死亡者の傾向について

1. 都道府県別の熱中症救急搬送者数と熱中症死亡者数

救急搬送者数・死亡者数ともに東京・大阪が多い(左図)。

人口あたり救急搬送者数は鹿児島・鳥取・佐賀・大分など西日本で多い傾向にあり、人口あたり救急搬送者数の都道府県間の差(最大が最小の約2.5倍)とくらべ、人口あたり死亡者数の都道府県間の差が大きい(同5倍以上)(右図)。

※2020-2024年の5年平均

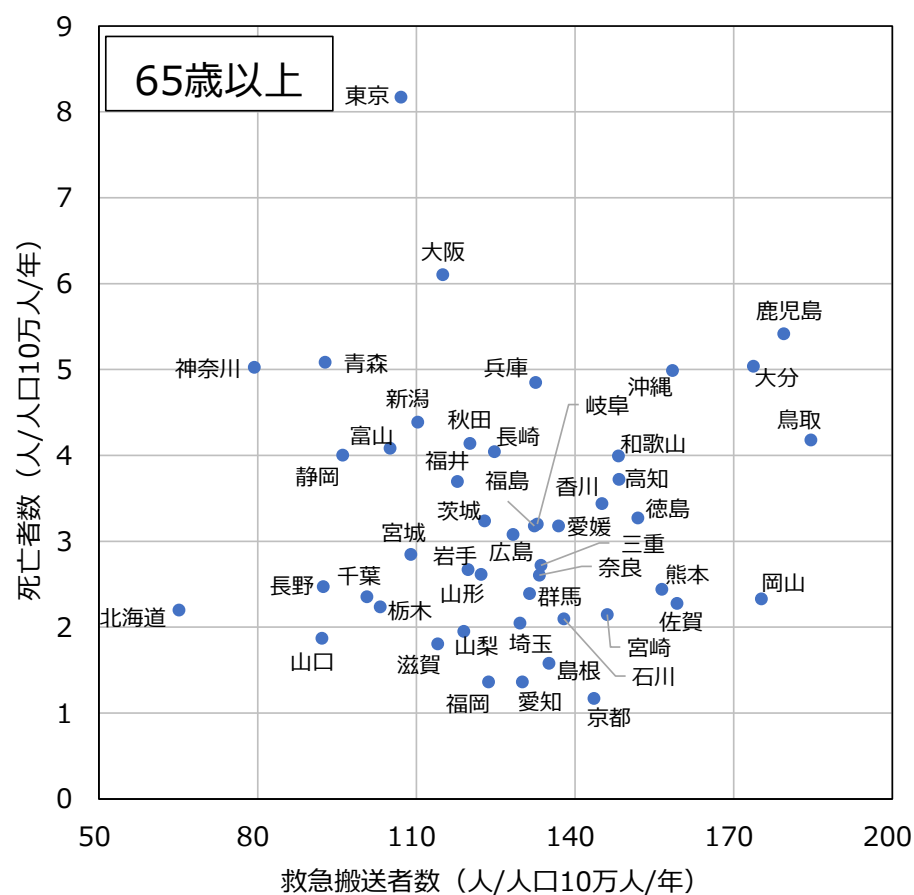
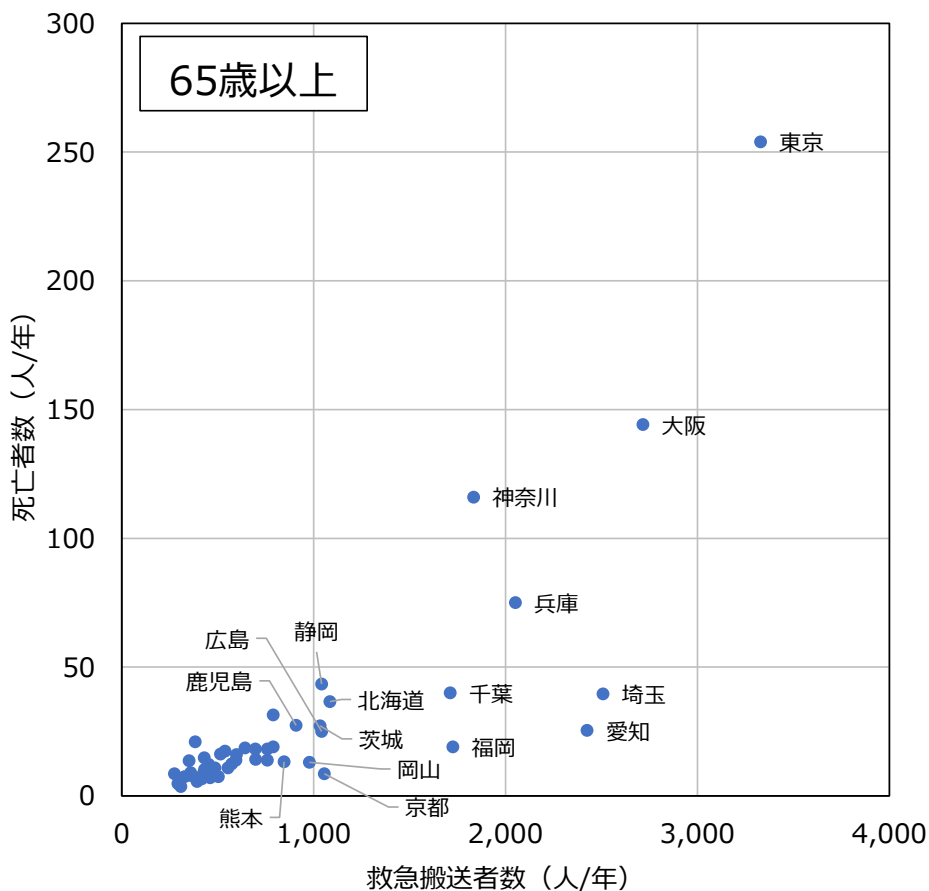


熱中症救急搬送者数：総務省消防庁、熱中症死亡者数：厚生労働省提供の人口動態統計(死亡票)をもとにERCAが作成したもの。各都道府県の人口は、2020年の国勢調査を用いた。

1. 都道府県別の熱中症救急搬送者数と熱中症死亡者数

65歳以上に絞ると、人口あたり救急搬送者数の都道府県間の差が約3倍のところ、人口あたり死亡者数の都道府県間の差は約7倍となり、全年齢層を対象とした場合に比べて都道府県間の差が広がる(右図)。

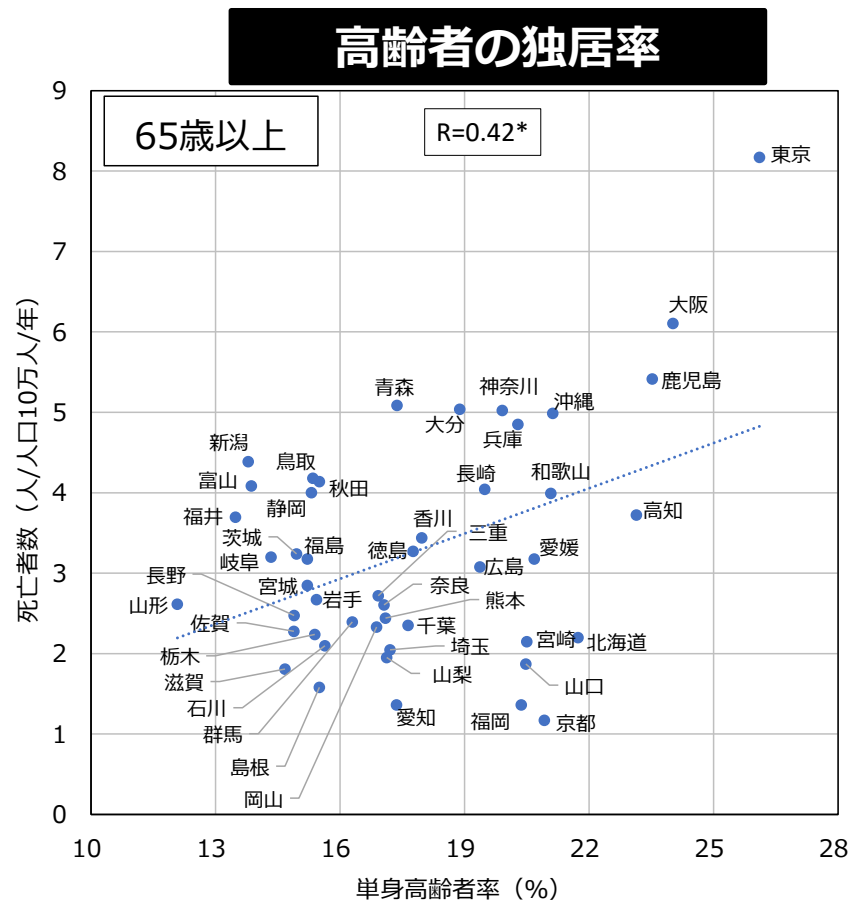
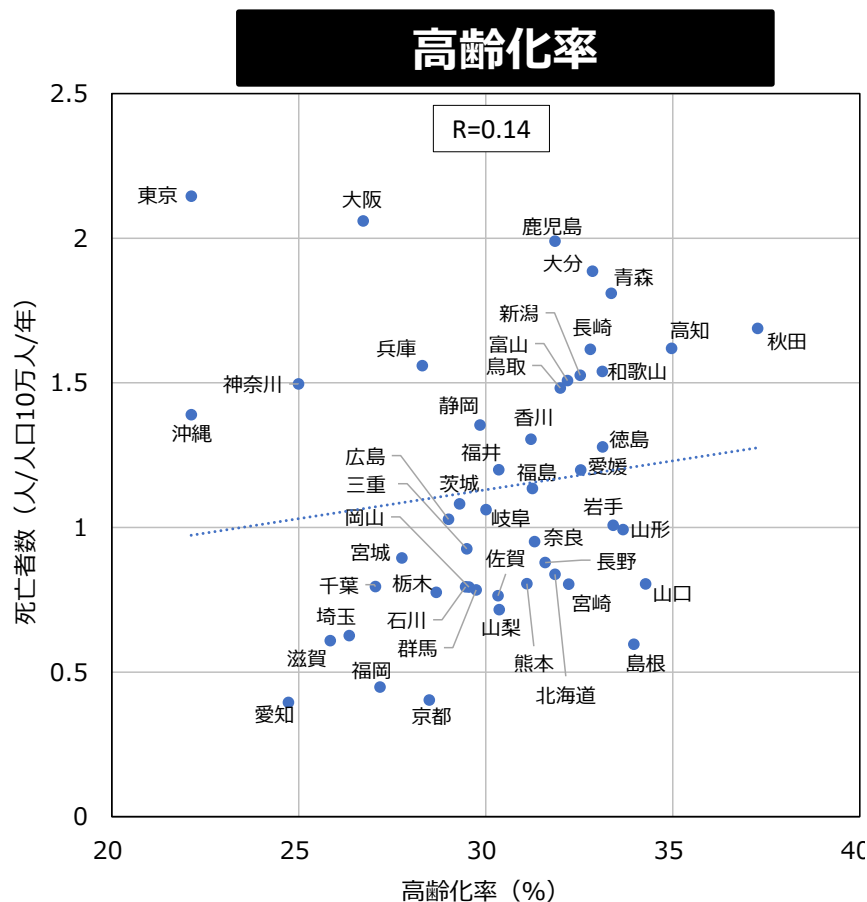
※2020-2024年の5年平均



熱中症救急搬送者数：総務省消防庁、熱中症死亡者数：厚生労働省提供の人口動態統計(死亡票)をもとにERCAが作成したもの。各都道府県の人口は、2020年の国勢調査を用いた。

2. 都道府県別の熱中症死亡者数と高齢化・独居率

人口あたりの熱中症死亡者数と、高齢化率、高齢者の独居率との関係を示す。
 高齢者の人口あたり熱中症死亡者数は、高齢者の独居率と弱い正の関係性がみられる。
 ※2020-2024年の5年平均



熱中症死亡者数：厚生労働省提供の人口動態統計(死亡票)をもとにERCAが作成したもの。
 各都道府県の人口は、2020年の国勢調査を用いた。

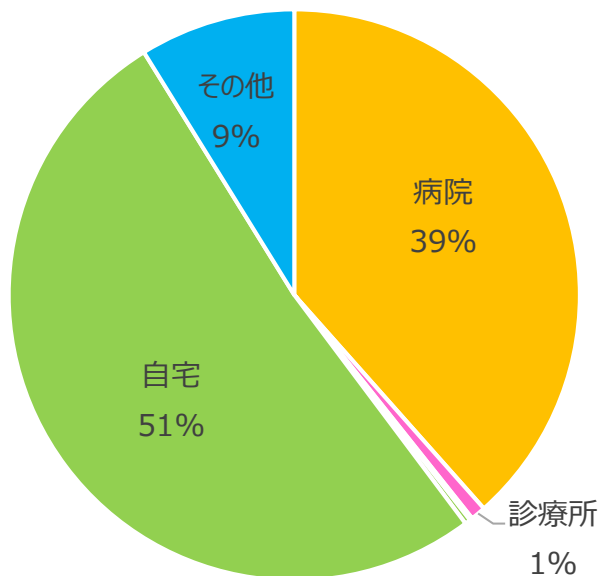
*: P<0.05

3. 熱中症死亡者数の死亡場所別・外因場所別割合

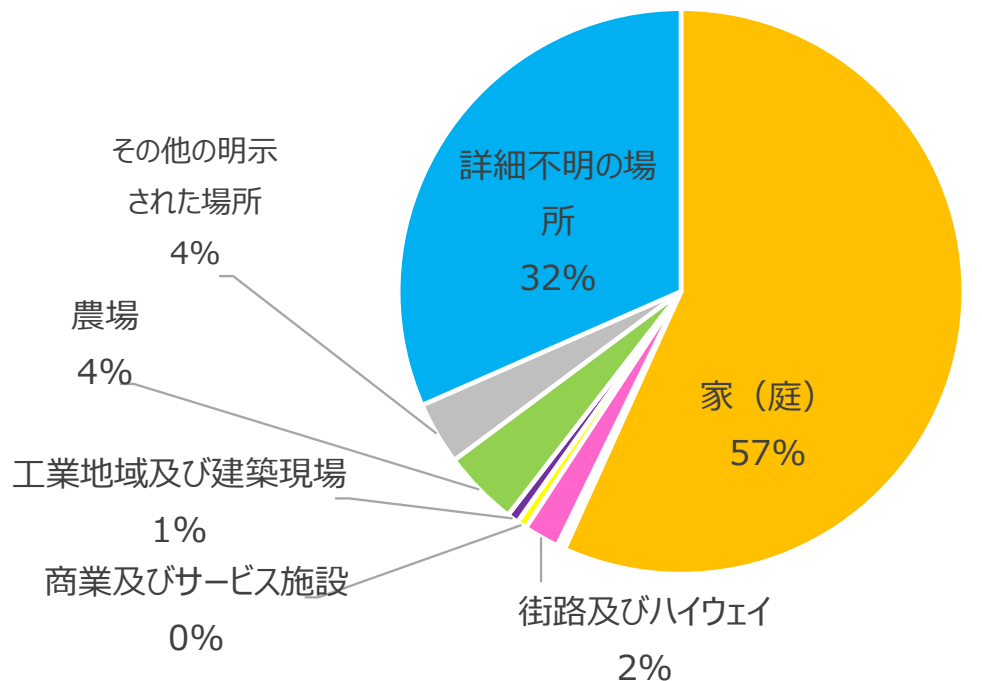
熱中症死亡の死亡場所別割合は、自宅が51%、病院が39%を占める。
外因場所別割合は、家（庭）が57%、次に多いのが農場で4%を占める。

※2020-2024年の5年平均

死亡場所別割合



外因場所別割合

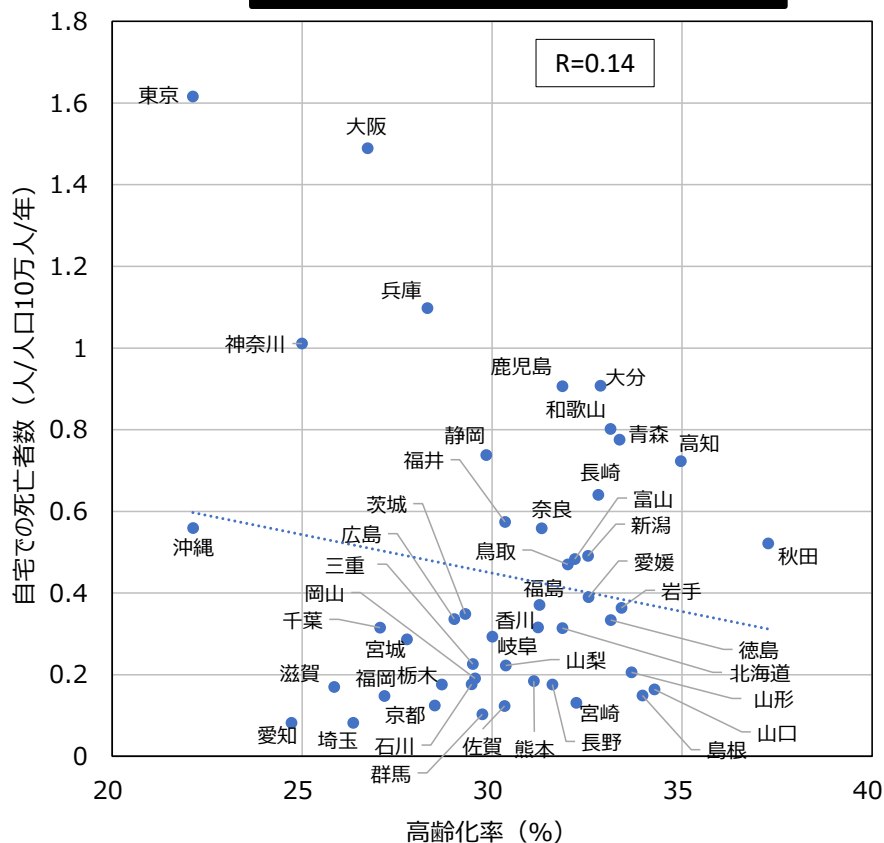


4. 都道府県別の自宅での熱中症死亡者数と高齢化・独居率

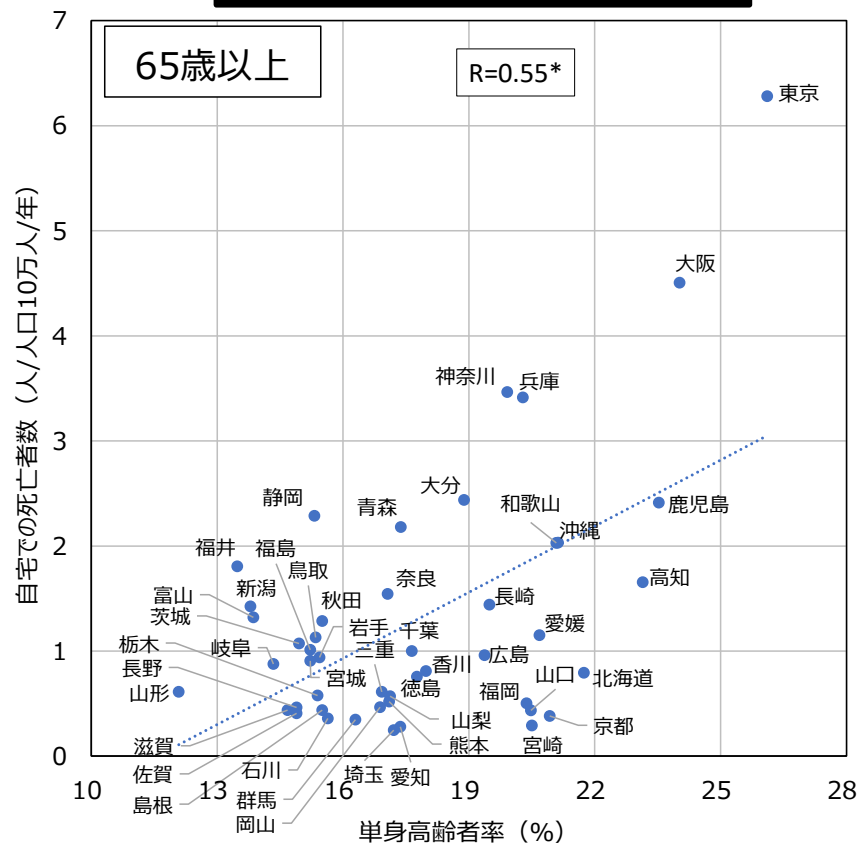
自宅での熱中症死亡者数と、高齢化率、高齢者の独居率との関係を示す。
 高齢者の自宅での人口あたり熱中症死亡者数は、高齢者の独居率と正の関係性が見られる。

※2020-2024年の5年平均

高齢化率



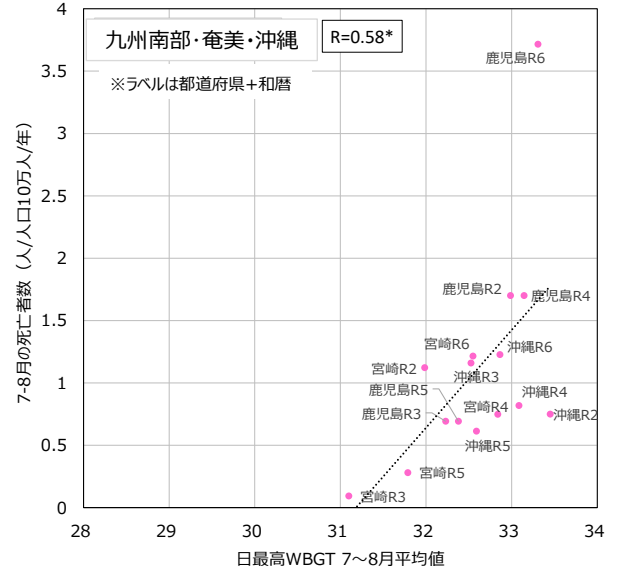
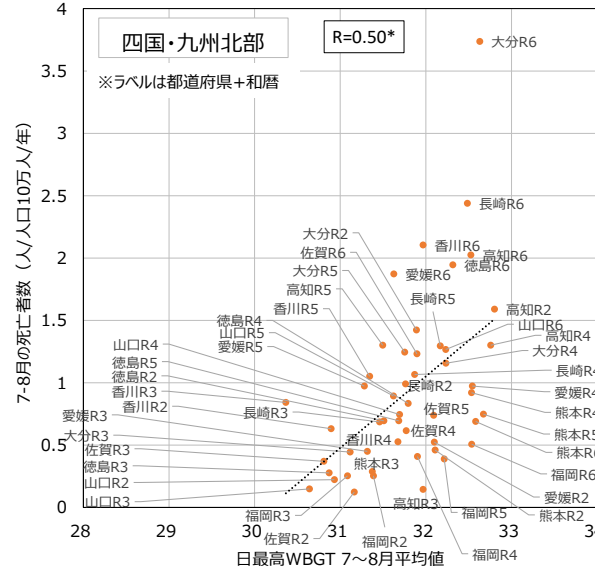
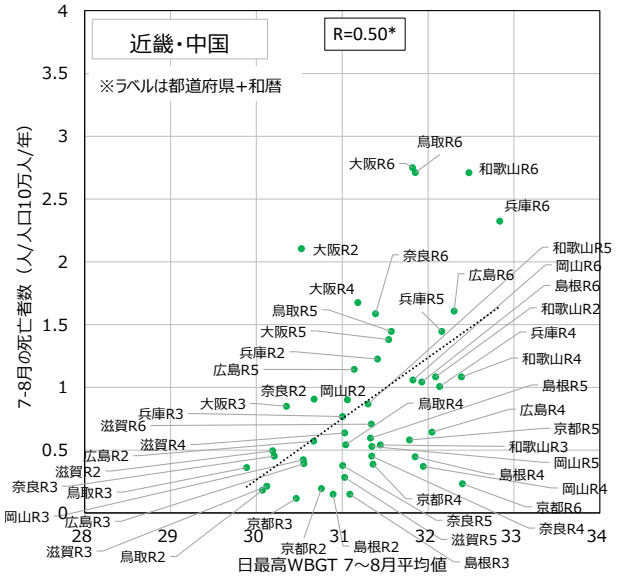
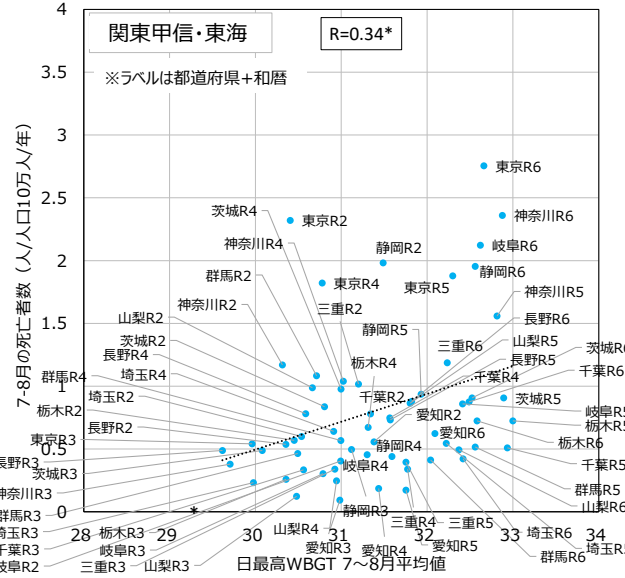
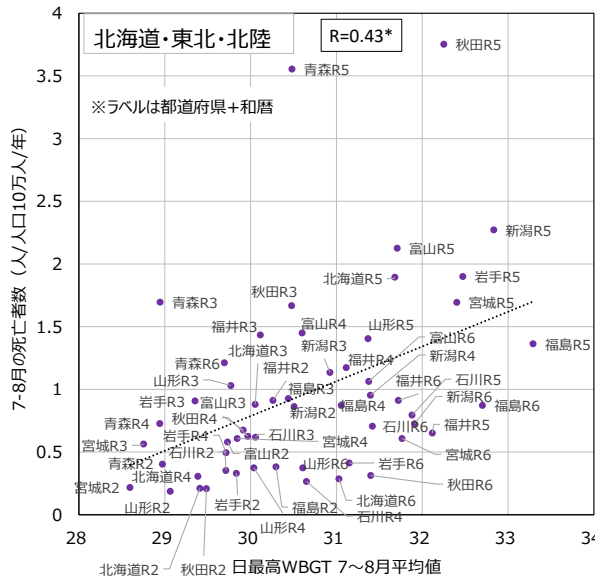
高齢者の独居率



熱中症死亡者数：厚生労働省提供の人口動態統計(死亡票)をもとにERCAが作成したもの。
 各都道府県の人口は、2020年の国勢調査を用いた。

7. 都道府県別・年別の熱中症死亡者数と夏の暑さ

都道府県別の日最高WBGTと人口あたり熱中症死亡との関係は、地域ブロック別、年別に見ると、正の関係性が見られる。



熱中症死亡者数：厚生労働省提供の人口動態統計(死亡票)をもとにERCAが作成したもの。
 各都道府県の日最高WBGTは、環境省熱中症予防情報サイトから作成したもの。
 各都道府県の人口は、2020年の国勢調査を用いた。